

第7回総合戦略策定検討委員会

議事要旨

日時：令和3年12月16日（木）
午後6時30分～8時00分
会場：市民ホール

次 第

- 1 開会
- 2 委員長あいさつ
- 3 議題
①総合戦略における全体のまとめについて
- 4 その他
- 5 閉会

配付資料

【配付資料】

- 1 資料1 昭島市総合戦略【実行計画編】

出席者（敬称略）

委員長・・・松本祐一（多摩大学総合研究所）

副委員長・・・永田弘行（立川公共職業安定所）

委員・・・水野宏一（昭島市商工会）、勝見真之（連合多摩中央地区協議会）、北原裕貴（多摩信用金庫）、樽松洋（公募市民）、富名則之（公募市民）、石川くに子（公募市民）

事務局・・・萩原政策担当部長、村山企画政策課長、滝瀬総合基本計画担当課長、萩原企画調整担当係長、森田企画調整担当係長

傍聴者・・・1名

1 開会

事務局・・・ 皆さんこんばんは。本日は、大変お忙しい中、第7回総合戦略策定検討委員会にご出席を賜りまして、誠にありがとうございます。新型コロナウイルス感染症につきましては、現在落ち着きを見せているところではありますが、新しい変異株が出始めていることから、事務局としては出来るだけスムーズな進行に努めていきたいと思っておりますので、どうぞよろしく願いいたします。それでは、委員長よろしく願いいたします。

2 委員長あいさつ

委員長・・・ 改めまして、皆さんこんばんは。今回で第7回の委員会ということで、かなりの数をこなしてきましたが、皆様のご協力のおかげで完成しつつある状況ですので、今日が最後の確認という流れになるのかなと思っています。では、時間も限

られていますので、早速議事を進めていきたいと思っておりますので、まずは事務局より本日の資料について説明をお願いいたします。

事務局・・・ 本日使用する資料につきましては、事前に送付をいたしました昭島市総合戦略 実行計画編の資料1と本日机上配付しております本日の次第となりますが、不足などがございますでしょうか。また、第6回委員会の議事要旨（案）につきましては皆様に事前に送付させていただいております。ご覧いただいているかと思っておりますが、何かお気づきの点があればご発言をお願いいたします。

石川委員・・・ 10ページの部分でP Pプログラムと記載がありますが、正しくはB Pプログラムになりますので修正いただければと思います。

委員長・・・ ありがとうございます。他に、議事要旨（案）で修正点はありますか。大丈夫そうですかね。では、今の修正点を加えまして、こちらを議事要旨とさせていただきます。

3 議題

(1) 総合戦略における全体のまとめについて

委員長・・・ では、続きまして本日の日程3の議題に入りたいと思っております。総合戦略の全体のまとめということで、事務局より説明をお願いいたします。

事務局・・・ 皆様には、事前送付により既にご確認いただいていると思っておりますので、前回ご意見等いただいた部分について、修正をした箇所を中心に説明を行い併せて全体的な確認を取らせていただきます。

資料1の昭島市総合戦略実行計画編2ページにつきましては、客観的な指標と効果検証の実施について修正箇所となります。前段部分では、各事業の効果・検証結果による事業改善について言及をしております。前回に事務局から全ての事業に対するアウトカムを軸にした目標値の設定やその事業効果が政策指標に対して、必ず結果として結びつくのは難しい旨説明をさせていただきました。そこで今回、政策指標に対する事業の効果検証を行い実施内容の見直しをすることで、柔軟に事業改善を図っていきたいと考えております。また、併せて検証の結果による事業効果や事業そのものが終了の際には、事業の入れ替えや新たな事業の追加などが可能となる内容といたしました。後段部分では、各重点事業について実施できなかった場合の代替事業や事業目的について言及をしております。事業本来の目的を把握するとともに事業が中止となる場合については、関連事業や既存事業における実施の検討を十分に行うことで事業目的の達成に努めるとしてまいります。

次に、3ページの横断的な視点の部分ですが、こちらは3つの「横断的な視点」について言及をしております。新たに追加された横断的な視点については、基本目標全てに関わる内容であり、事業の組立段階や事業実施の中でも十分に意識して取組を行うという観点から追記させていただきました。

次に、7ページはSDGsにおける全17項目の目標の個別説明について、一覧表を2ページにわたり追加掲載をしております。

次に、11ページは事業①官民連携まちづくり推進事業について、事業名と事業内容を修正したものととなります。以前は、まちづくり企業サミットの開催事業と表

記していましたが、総合基本計画との整合を図り、事業名と事業内容を修正いたしました。

次に、12 ページの(2) 中小事業者や個人事業主の事業継続と事業承継支援について説明文を一部修正しました。まちづくりや地域経済の発展のためには、大手中核企業やそれに準じる企業、また中小企業など全体で進めていくことが大事とのご指摘をいただきました。そこで、市としては昭島市商工会とも連携をしながら中小企業・個人事業主との直接の対話、生の声を聴くという視点を持ち時代の変化に応じたニーズ把握などに努めながら取組を進めるということから、このような内容に修正をいたしました。

次に、14 ページの事業①のハローワークとの連携事業についてですが、前回の指標「あきしま就職情報室来所者数」については、電話対応やデジタル化の推進により来所者数を増やす傾向にはないことから削除しています。よって、就職件数の目標値については、このような内容を含め近年の実績、傾向、今後の事業動向などを踏まえて500人から350人へ修正をしております。

次に、22 ページの事業②ふるさと納税の充実についてですが、ふるさと納税を充実させる点で具体的に注力する取組について言及をしています。今回は、ふるさと納税の返礼品部分に着目し、質的かつ量的な面での取組強化を図り更には本市独自の製品や事業のPRに繋げていくことから、このように修正をさせていただきました。

次に、33 ページのKPIの表における項目欄一番上の部分ですが、新たに「目標値」を追加し、年度実績の並びを左から令和元年度、平成30年度の順に並び替えを行いました。また、令和2年度については新型コロナウイルス感染症の影響により通常の実施ができない事業が多かったことから、KPI達成状況の正確な検証ができないため削除しております。

次に、35 ページのふるさと納税者数についてですが、令和元年度はクラウドファンディングによる寄附があり、その件数を除いた通常ベースの実績で数字を修正をしております。また、表の欄外にその旨の注意書きを追記しております。なお、同ページのInstagramの部分については、以前ご指摘いただきました部分ではありますが、Instagramを開始したのは令和3年7月からであり、令和元年度は事業に着手していないため、「-」と記載をしております。

主な修正箇所における説明は以上となりますが、こちらの冊子は前回の本委員会が出た意見を踏まえて検討をし、修正を加えた内容のものとなっております。こちらの内容については、庁内の検討委員会において既に承認を経ているものがあります。これまで、委員の皆様より多くのご意見をいただきました。いただいたご意見全てを反映できたわけではございませんが、事務局としてはできる限りの検討を行ってきた次第でございます。また、本日の委員会に際して期限を設けた事前確認をさせていただきましたが、本冊子の内容に影響するようなご意見はないとのことで承っており、本日こちらを最終案とさせていただきたいと考えております。なお、この後も事務局においては、文言や体裁等の確認や微調整を行い、また統計データなどについても最新のものが出ましたら入れ替えをする方向で進めてまいりたいと考えておりますので、よろしく願いいたします。

委員長・・・ ありがとうございます。今事務局から説明があった通り前回皆様からご意見いただいた部分を修正、追加したものを事前に送付いただきまして、既にご確認いただいていると思います。大きく内容に関わるものについては、ご意見がなか

ったと承っていますが、今改めて変更部分についてのご説明をいただきましたので、改めてご質問ご意見などがあるという方は、是非いただければと思いますが、いかがでしょうか。

水野委員・・・ 改めて今日が最終回ということで、今までの事務局の皆様の大変なご苦勞を察しますと、頭の下がる思いでございます。このような素晴らしい計画ができたということで、委員の一人として大変嬉しく思います。7ページのSDGsの説明文は、新たに加わったということで、とても見やすくなり読まれる方はわかりやすいかなと思います。

いくつか気になった部分がございます。まず、2ページの第三者による附属機関はどういうところを示しているのか、ここで具体的に示した方が良いのではないかなと思いました。次に、3ページの下に横断的な視点という説明文はとても良いと思いましたが、(2)基本目標の3行目部分で横断的な視点を設定しますと触れているのであれば、米印などを付して、ページの下部分に説明を入れた方が、より丁寧で市民の方はわかりやすいのかなと感じました。次に、12ページですが、中小事業者や個人事業主とタイトルがありますが、説明文では、中小企業・個人事業主となっており、文言の統一をした方が良いと思います。中小企業・個人事業主の方が、色々な意味合いで全てを含有するのかなと思いました。なお、全国商工会連合会が表現しているのは、中小企業・小規模事業者と表現されているようです。

委員長・・・ ありがとうございます。こちらのご意見につきましてはいかがでしょうか。

事務局・・・ まず、第三者による附属機関については改めて総合戦略における推進の委員会を立ち上げてPDCAのチェックや改善を図っていきますので、具体的な委員会名については仮称となりますが記載をしたいと思います。次に、横断的な視点については冊子の構成における全体的なバランスを考慮しながら、表記の仕方については検討したいと思います。次に、中小企業・個人事業主の部分については文言を統一をするよう修正をさせていただきたいと思います。

水野委員・・・ ありがとうございます。

委員長・・・ 他には何かございますでしょうか。

富名委員・・・ 2点ほどあります。1点目は、19ページの深層地下水の保全におけるKPIですが、浸透水量等の年間目標を定めて、それを基に今回10基とか25基とか設定しているのでしょうか。2点目は、27ページの医療的ケア児保育支援事業については、5施設とありますが最終的には何人の受入れを目標としているのでしょうか。

事務局・・・ まず、雨水浸透施設設置助成事業については宅地内に浸透施設を設置しますが、過去の年間実績を基に目標設置数を定めています。それぞれの宅地に応じた雨水浸透施設を設置する事業なので、浸透させる水量を年間目標としては設定していません。また、雨水貯留槽助成事業については雨水の有効活用と節水を目的としており、事業目的の趣旨から何m³を確保するという目標も設定はし

ておりません。主管課や庁内検討委員会で確認する中で、このK P Iの目標値が設定されております。

次に、医療的ケア児につきましては、計画上の施設数を設置していくことで安心して子育てできる環境づくりの一端を担っていくという趣旨の事業でございます。原則1施設につき1名の受入れとなりますので、計画では累計5施設開設予定のため、受入れ人数の目標としては5名となります。ただし、今後事業運営をしていく中で、看護師1名が2名のケア児を看ることができるようなどの対応により、受入れ人数の増加を図ることが可能になるなど、受入れ体制については柔軟に対応を図ってまいります。

委員長・・・ 他には何かございますでしょうか。もし、ないようでしたら、今皆さんからいただきました内容を踏まえまして、事務局で修正を加えていただければと思います。修正案につきましては、本日が委員会の最終回となりますので、最終的な確認は、私と永田副委員長の方で確認をいたしまして、最終案として進めさせていただきますと思います。

4 その他

○今後のスケジュール等について

委員長・・・ それでは次に、その他ということで事務局よりお願いいたします。

事務局・・・ まず、今後のスケジュールについて説明をさせていただきます。本日いただきましたご意見を踏まえまして、実行計画編の修正案を委員長、副委員長に内容確認いただき、この委員会での最終的な計画案としてまとめていきたいと思っております。その後、委員会を代表いたしまして、委員長から市長へ報告という形をとらせていただければと考えております。その後、この実行計画編につきましては、昭島市議会の総務委員協議会にて報告を行う予定でおりますので、併せてご了承いただければと思います。以上が今後のスケジュールとなります。

次に、本日が最後の委員会ということで、事務局を代表しましてご挨拶をさせていただきますと思います。この委員会につきましては、令和2年8月6日に委嘱状を交付させていただき、総合戦略の基本方針を含めた全体の取りまとめをお願いしたところでございます。1年4か月程の時間をかけて、ようやくここまでまとめることができ、事務局としても大変感謝をしております。総合戦略の本体部分の基本目標や基本方針部分につきましては、市の最上位計画となります新たな総合基本計画に包含する計画として、原案を昭島市議会へ12月2日に提案をさせていただいたところでございます。市議会におきましては、基本構想審査特別委員会を設置いたしまして、1月には集中審議に入る予定です。その動向を踏まえながら基本目標達成に向けた実行計画編として、この具体的な施策と併せて施策の展開に努めていきたいと考えております。1期目の総合戦略の課題を整理しながら、より柔軟な実効性のある計画としてまとめられたと思っております。各委員さんの活発な議論や提案などいただいた成果が詰められた計画となったと思っておりますので、本当にどうもありがとうございました。

委員長・・・ ありがとうございます。そういう意味では、今日が最後ということでもあります

ので、委員の皆様より、今回この委員会に参加されての感想を一言ずついただき終了したいと思います。

(各委員より ご挨拶をいただく)

委員長・・・ ありがとうございます。最後に私からですが、最初の総合戦略をつくるころから関わらせていただき、つくってからの推進と今回二つ目の総合戦略づくりのところまで関わらせていただきました。そう考えると、当時と比べると社会そのものも非常に大きく変わってしまい、新型コロナウイルス感染症拡大ということで、委員会そのものもまさにコロナ禍において並行するような形で進んでいく中で、沢山の会議にご参加いただきながら、なんとか仕上げられたというのは、委員の皆様と事務局の努力の成果であると考えております。その中で感じるのはまちの計画だけではないのですが、計画というものが計画として機能しなくなりがちの世界になってしまったということです。一度こうしましょう、こうやっていきましょうと決めていたものが、あっという間に陳腐化してしまうというのが現状です。なので、大事なのは実行であり、実行しながら計画で考えていたものがどう変わり、または今後どうしたら良いのかという、ある意味指標みたいなものが計画になっていくのかなと思いますので、この出来上がった総合戦略については、やはり検証をしていきながらどういうふうに変化に対応していくのかというところをきちっと見ていくというのが大事であると思います。我々委員は、これで一旦役目が終了となりますが、昭島に住まれている方や昭島に関わっている方は、常に昭島市がやっていること、そういったものをウォッチしながら良い部分も悪い部分も見ながら、より良いものにしていけるような計画になったら良いなと思いますので、引き続き皆様のご協力をいただきながら、進められたらなと考えております。本当に長い時間、大変な時期、このような形でご協力いただきまして、本当にありがとうございました。

5 閉会

委員長・・・ それでは、これもちまして第7回総合戦略検討委員会を終了したいと思います。本当にどうもお疲れ様でございました。